

保護者各位

令和2年3月25日

一斉休業の取り止めについて（学校の再開について）【第9報】

上市町教育委員会

今尚、新型コロナウイルスの猛威は治まるところを知らず、日々、新たな感染者が増えている状態にあります。

こうした中で、国では、一斉休業の取り止めを発表し、感染が発生していない地域などでは、密閉空間などを避けることを条件に開始することを認めることが伝えられました。

このため、上市町の小中学校では、4月当初から、学校を再開することとしました。

下記のとおり、厳重な管理のもと、教育活動を始めたいと思います。

また、再開にあたっては、引き続き、感染拡大の防止のため、一人ひとりが行える、咳エチケットや手洗い等に努めるとともに、毎朝、登校前に体温の測定を行い、健康状態の確認を行ってください。

ただし、富山県内、上市町などで感染症が発生した場合などのときには、改めて、学校の活動を続けるかどうかの判断をして、速やかにお伝えします。

また、今後、日本国内のどこかで、爆発的に患者が急増する状況である「オーバーシュート（爆発的患者急増）」が生じたときは、国内での感染状況も勘案した上で、活動を続けるかどうかの新たな判断が必要となることをご承知おきいただきたいと思います。

なお、この感染症についての警戒については、引き続き怠ることはできず、かなりの長期に渡ることをご了承願いたいと思います。

記

爆発的な感染拡大を防ぐために

- 1 感染が拡大しやすい人混み
- 2 換気の悪い密閉空間
- 3 近い距離で会話する環境

の以上三つの条件がそろった場所を徹底的に避けること。

保護者各位

令和2年3月25日

今後、地域での感染者の出現への対応について【第10報】

上市町教育委員会

まずは、引き続き、感染拡大の防止のため、一人ひとりが行える、咳エチケットや手洗い等を徹底するとともに、毎朝、登校前に健康状態の確認を行ってください。

感染症の収束は、かなりの割合の人は抗体を持つに至り、加えて、新たな発生が、激（劇）的に減少するときに宣言されるところです。

未だ、多くの人に抗体はなく（感染していない）、また、ワクチンや有効な薬の開発も行われていない状況にあります。

今後、地域での感染者が出現する可能性があるため、今後、感染者が発生する中、学校での教育活動をいかに、最善の注意を払いながら進めていくかが課題となります。

こうしたことから、今後の感染症の発生状況への対応として、別紙の判断基準等のもと対応していくこととしました。

今後の感染症の発生状況への対応（判断基準）

- 1 地域（上市町）で発生していない時→引き続き、警戒しながら活動する。
- 2 地域（上市町）で発生した時
 - (1) 学校関係者（児童生徒及び教職員）でない時→引き続き、警戒しながら活動する。
 - (2) 学校関係者である時
 - ①児童生徒の家族が感染した場合→児童生徒が濃厚接触者となるため、本人は、出席停止とし、それ以外の児童生徒は警戒しながら、活動する。
 - ②児童生徒または教職員が感染した場合
地域での感染状況を総合的に踏まえた上で、富山県中部厚生センターと相談の上、次のいずれかの対応とする。
 - ・児童生徒が感染した場合（2週間） → ・臨時休業
・学級閉鎖
・本人のみ自宅待機など
 - ・教職員が感染した場合（2週間） → ・臨時休業
・本人のみ自宅待機など

なお、感染が確認されている状況が続いている間は、次のことを遂行してください。

- 1 毎日、家庭で検温し、記録する。
- 2 発熱（37.5℃以上）等がある場合、登校しない（させない）または、登校している場合は、下校し、自宅で休養すること。
また、児童生徒もしくは家族に、発熱等の風邪の症状がみられるときは、無理をせずに自宅で休養すること。

別紙 2

学校での教育活動上の注意

(授業中)

- ・現時点では、教室での前後左右の間隔を 80 cm 以上空け、身体（手など）が触れ合うことを極力避ける。
- ・発声や発音など音声が必要の場合は、マスクを着用するとともに、特に換気に努める。

(部活動)

- ・室外のとき→できる限り密集する場面を避ける。
- ・室内のとき→
 - ・時間での交替制で、施設の活用に配慮し、換気に十分注意する。
 - ・密集での活動を極力避ける。
- ・部室の使用について→部室でのミーティングは控え、換気にも努め、お互いに感染リスクを下げるよう努める。